



3/7 第2回新賃金交渉

組 責任を全うする社員の「声」に
「数字」で応えるべきだ!

総額人件費に与える影響等も踏まえ総合的に勘案し、
慎重に判断する必要があると考えている。



【会社の現状認識】

- ・足元では、第3四半期決算まで黒字を確保することができ、今後の社会活動の正常化へ向けた兆しが見えてきたところではあるが、当初計画していたご利用状況までは回復しておらず、未だ厳しい状況にあると考えている。
- ・その中で、社員の「融合と連携」による収益拡大やコストダウンといった生産性向上の取り組みが動き出したところである。これまでのコロナ禍の状況からの「モードチェンジ」に向けた歩みをさらに加速し、新たな価値・サービスを提供できる会社を創り上げていかなければならない。
- ・このような基本スタンスを踏まえ、貴側からの要求については、総額人件費に与える影響等も踏まえ総合的に勘案し、慎重に判断する必要があると考えている。今後、早期の合意を念頭に、スケジュール感を持ちつつ真摯かつ精力的に議論を進めていきたいと考えている。

組 減額された昇給係数2の回復が
モチベーションにつながる!

社員・家族の幸福の実現という好循環へとつなげるべく、
積極的かつ建設的に構造改革を推し進めていく。



これ以上の離職者の増加は、
安全・安定輸送を脅かしかねない

将来への
投資同様

人への投資もすべきだ!